

令和8年度 下水道部組織目標

組織名	下水道部	部長	下水道部長 小林 久剛
組織の目的・方向性	人口減少に伴う厳しい経営環境、気候変動の影響による自然災害の激甚化、施設の老朽化、脱炭素社会への取組など、下水道が抱える課題が深刻化しています。 このようななか、市民が安心・安全、かつ衛生的で快適に暮らせるよう、関連する施策の緊急度、優先度を考慮した取組を行い、持続可能な下水道サービスを提供します。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標※	浸水対策率 汚水処理人口普及率		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

下水道部組織目標

下水道部では、「第2次下水道中期ビジョン（改訂版）」を取組の柱として現在の社会情勢及び様々な課題に対応し、持続可能な下水道サービスを安定的に提供するため、予防保全型の維持管理と計画的な改築更新、雨や地震に強いまちづくり、総合的な汚水処理の推進に向けた取組を進めます。 また、令和6年能登半島地震で被災した公共インフラ等の早期復旧に向けて、他部局と連携し、部の総力を挙げ取り組むとともに、下水道施設の点検・調査を強化することで、効率的・効果的な維持管理及び老朽化対策による着実な施設機能の確保に努めます。 さらに、下水道経営の効率化と人材育成などにより組織強化に努めるとともに、広報や情報発信により市民理解の醸成を図り、下水道への接続向上に取り組めます。 この方針のもと、下水道部は次の4つの取組を重点的に実施します。 重点目標 1 健全な下水道施設の機能を確保するため、予防保全型の維持管理と計画的な改築や更新を推進します。 2 市民の安心・安全な暮らしを守るため、雨や地震に強いまちづくりを継続して推進します。 3 衛生的で快適な市民生活の確保と水環境の保全を図るため、総合的な汚水処理を推進するとともに、創エネ・再エネ利用などによる脱炭素化に取り組めます。 4 持続可能な下水道運営を図るため、ウォーターPPPなど官民連携による経営の効率化、専門的な知識を有する職員の育成による経営基盤の強化などに取り組めます。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

取組結果	重点目標の達成状況	目標数		達成数	
今後の方向性					